

科目名 クラス名	はじめてのデータサイエンス		
科目名（英語）	はじめてのデータサイエンス		
担当教員名	中村 健太郎、安達 一寿		
ナンバリング	NEf2032		
学科	2024～2025年度 大学 教育人文学部 幼児教育学科 1年／2024～2025年度 大学 教育人文学部 児童教育学科 1年／2024～2025年度 大学 教育人文学部 心理学科 1年／2024年度 大学 人間生活学部 人間福祉学科 介護コース 1年／2024～2025年度 大学 人間生活学部 健康栄養学科 1年／2024年度 大学 人間生活学部 人間福祉学科 こどもコース 1年／2024～2025年度 大学 人間生活学部 食物栄養学科 1年／2024～2025年度 大学 教育人文学部 文芸文化学科 芸術・文化コース 1年／2025年度 大学 人間生活学部 人間福祉学科 社福・介護コース 1年／2024～2025年度 大学 人間生活学部 食品開発学科 1年／2024～2025年度 大学 教育人文学部 文芸文化学科 多文化・共生コース 1年／2025年度 大学 人間生活学部 人間福祉学科 社福・保育コース 1年／2024～2025年度 大学 教育人文学部 文芸文化学科 日本語・日文コース 1年／2024～2025年度 大学 社情デザイン学部 社情デザイン学科 1年		
学年	1年	開講期	2025年度後期
授業形態	演習	単位数	2単位
遠隔授業対象科目	オンデマンド形式		
振替元科目			

実務経験の有無	無
実務経験および科目との関連性	無

ねらい			
①科目の性格	本科目は、全学部全学科の共通科目「ICT・データサイエンス」領域の科目であり、卒業要件において必修である。各自が都合の良い時間に受講できるフルオンデマンド形式で開講する。		
②科目の概要	本科目では、デジタル社会における基礎的な素養として修得が必須なAI・データサイエンスの基本的な知識やスキルを適切に理解し、データに基づいて発想する力、実際に活用する力を身に付けます。		
③授業の方法（ALを含む）	・オンライン上で動画教材を使って自ら学んでいく科目であり、各自が都合の良い時間に受講することができるフルオンデマンド型授業です。 ・所定の期間中、講義動画は何度でも視聴できるので、自分のペースで学習を進め、また各回の小テストや課題に取り組むことで理解を深めます。 ・授業回によってはEXCEL等を用いた演習により理解を深めます。		ミニテスト／レポート／その他（記述内容参照）／ICT
④到達目標	・AI・データサイエンスの必要性を理解し、説明できる ・社会で活用されているデータ・AI活用の事例について説明できる ・どのような思考方法でデータを扱うかを理解し、説明できる ・データ・AIを扱う上での留意事項を説明できる ・AI・データサイエンスについて自ら学び、活かす姿勢を身に付ける		
⑤ディプロマ・ポリシーとの関係（右の資質・能力を育成することを目的とする）	【対課題-3】;社会的課題の析出・解決方策の検討・協働的、実践的解決		

教科書	
推薦書・参考文献	

履修上の助言、教員からのメッセージ	動画教材を使って全てオンライン上で学習するので、特定の授業時間はありません。そのため、自分のペース・空き時間でいつでも学習が可能です。 ただし、学修のペースをつくるために、毎回の授業の開始時期の日安は通常の授業の授業回と同様と考えてください。 また、毎回の確認テストには解答可能期間を設けます（特定の期日以降は解答できません）。 授業内容の質問に関しては、UNIPAのQ&Aが学内メールで対応します。また、授業概要のオリエンテーションを配信または動画を通じて行います。日程や実施方法等は、UNIPAの授業資料に掲載するので参照してください。
-------------------	---

第1回		
事前学習	・シラバスの確認 ・動画教材の視聴環境確認（インターネット、Webアクセス）	90分

授業内容	○社会におけるデータ・AI活用：データサイエンスを始めよう 主に以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・講義概要 ・データサイエンスとは何か ・データ活用の魅力と威力	
事後学習・次回事前学習	[事後学習] 確認テストへの解答, 内容の振り返り [次回予習] 資料の確認	180分
第2回		
授業内容	○社会におけるデータ・AI活用：あなたもデータサイエンティスト 主に以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・身近なデータ活用 ・ビッグデータ	
事後学習・次回事前学習	[事後学習] 確認テストへの解答, 内容の振り返り [次回予習] 資料の確認	180分
第3回		
授業内容	○社会におけるデータ・AI活用：「未来」の社会がやって来た 主に以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・データ駆動型社会 ・自動運転, 自動翻訳, 自律的思考 ・生成AI	
事後学習・次回事前学習	[事後学習] 確認テストへの解答, 内容の振り返り [次回予習] 資料の確認	180分
第4回		
授業内容	○社会におけるデータ・AI活用：さまざまなデータの活躍 主に以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・データ量の増加 ・データの分類 ・情報セキュリティ	
事後学習・次回事前学習	[事後学習] 確認テストへの解答, 内容の振り返り [次回予習] 資料の確認	180分
第5回		
授業内容	○データリテラシー：データを実際にみてみよう（実習1） 主に以下の内容について、資料参照や動画視聴, 演習を行う ・データの種類 ・データの分布	
事後学習・次回事前学習	[事後学習] 確認テストへの解答, 演習ファイルの提出, 内容の振り返り [次回予習] 資料の確認	180分
第6回		
授業内容	○データリテラシー：データにダメされないために（実習2） 主に以下の内容について、資料参照や動画視聴, 演習を行う ・グラフ作成 ・まずいグラフ ・効果的なグラフ	
事後学習・次回事前学習	[事後学習] 確認テストへの解答, 演習ファイルの提出, 内容の振り返り [次回予習] 資料の確認	180分
第7回		
授業内容	○社会におけるデータ・AI活用：データ・AIをどう使う？ 主に以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・データの利活用場面 ・AIの活躍場面	
事後学習・次回事前学習	[事後学習] 確認テストへの解答, 内容の振り返り [次回予習] 資料の確認	180分
第8回		
授業内容	○社会におけるデータ・AI活用：データ・AI活用の仕組み 主に以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・AIの基本的なアイデア ・応用例	

事後学習・次回事前学習		[事後学習] 確認テストへの解答、内容の振り返り [次回予習] 資料の確認	180分
第 9 回			
授業内容		○ 社会におけるデータ・AI利活用：発展を続けるAI 主に以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・ AIの発展 ・ 概要の理解	
事後学習・次回事前学習		[事後学習] 確認テストへの解答、内容の振り返り [次回予習] 資料の確認	180分
第 1 0 回			
授業内容		○ データ・AI利活用における留意事項：AIの特徴と限界 主に以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・ AIの基本的な性質 ・ AI利用で気をつけるべきこと	
事後学習・次回事前学習		[事後学習] 確認テストへの解答、内容の振り返り [次回予習] 資料の確認	180分
第 1 1 回			
授業内容		○ データリテラシー：データから情報を引き出そう（実習3） 主に以下の内容について、資料参照や動画視聴、演習を行う ・ データの集計 ・ データ解析ツール	
事後学習・次回事前学習		[事後学習] 確認テストへの解答、演習ファイルの提出、内容の振り返り [次回予習] 資料の確認	180分
第 1 2 回			
授業内容		○ データリテラシー：データをもっと活用しよう（実習4） 主に以下の内容について、資料参照や動画視聴、演習を行う ・ データの比較 ・ 複数のデータ間の関係	
事後学習・次回事前学習		[事後学習] 確認テストへの解答、演習ファイルの提出、内容の振り返り [次回予習] 資料の確認	180分
第 1 3 回			
授業内容		○ オプション 自然言語処理：こんなことにもデータ利用 主に以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・ データに基づく発想 ・ ことばの分析	
事後学習・次回事前学習		[事後学習] 確認テストへの解答、内容の振り返り [次回予習] 資料の確認	180分
第 1 4 回			
授業内容		○ データ・AI利活用における留意事項：AIは人類の敵か味方か？ 主に以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・ データ・AI利用における倫理的・道義的課題 ・ AI利用の負の側面	
事後学習・次回事前学習		[事後学習] 確認テストへの解答、内容の振り返り [次回予習] 資料の確認	180分
第 1 5 回			
授業内容		○ 社会におけるデータ・AI利活用：「次の」データサイエンスへ 主に以下の内容について、資料参照や動画視聴を行う ・ AIの先端的利用 ・ AIが切り拓く新しい可能性	
事後学習		[事後学習] 確認テスト、最終テストへの解答	180分
フィードバック		・ 毎回の授業で実施する確認テストで、知識の修得状況を把握すること	
評価方法および評価の基準		・ 到達目標に示したすべての項目について、確認テスト（40%）、課題（10%）、最終テスト（50%）で評価を行い、到達率60%以上で単位を認定する。 ・ 最終テストの問題は、第1回から第15回までの確認テストを中心に出题する。	

ループリック						
		評価基準				
DP	評価項目	【S】到達目標以上に達している	【A】到達目標を十分に達成できている	【B】到達目標を達成できている（到達目標）	【C】到達目標を最低限度は達成できている	評価方法
社会的課題の析出・解決方策の検討・協働的、実践的解決	現代社会における課題の理解（50%）	AI・データサイエンスの必要性を十分に理解し、活用事例について説明できる。	AI・データサイエンスの必要性を理解し、活用事例について説明できる。	AI・データサイエンスの概念を理解し、活用事例について説明できる。	AI・データサイエンスの概念を理解している。	テスト 50%
社会的課題の析出・解決方策の検討・協働的、実践的解決	データ・AIを扱う上での課題（20%）	データ・AIを扱う上での課題や留意事項を明確に説明でき、その解決策が提案できる。	データ・AIを扱う上での課題や留意事項を説明でき、その解決策が提案できる。	データ・AIを扱う上での留意事項を説明でき、その解決策が理解できる。	データ・AIを扱う上での留意事項を説明できる。	課題 10% テスト 10%
社会的課題の析出・解決方策の検討・協働的、実践的解決	データの取り扱い（30%）	どのような思考方法でデータを扱うかを理解し、説明できるとともに、データの操作ができる。	どのような思考方法でデータを扱うかを理解し、説明できる。	どのような思考方法でデータを扱うかを理解している。	データを扱うことができる。	課題 20% テスト 10%